九州北部豪雨５周年シンポジウム

白川と球磨川の安全を考える

～立野ダム・川辺川ダムと河川改修はどうなっているのか？～

浸水する龍田陳内4丁目（2012.7.12）　立野ダム完成予想図　川辺川ダム完成予想図

ごあいさつ

2012 年の九州北部豪雨から５年が経とうとしています。５年前の豪雨で浸水被害があったのは、河川改修が完成していなかった地区ばかりでした。その後、改修は急ピッチで進んでいます。

一方で国土交通省は、白川では立野ダム建設を進め、球磨川ではあり得ないような大降雨があった場合の「洪水浸水想定区域図」なるものを発表したりしています。今回は、国土交通省で河川行政一筋に取り組まれてきた宮本博司さんをお招きし、「白川と球磨川の安全を考える」シンポジウムを開きます。是非ご参加ください。

●とき　2017年７月８日（土）午後６:30開会

●場所　パレア会議室１（鶴屋東館９階）　●入場無料

熊本市中央区手取本町8番9号　TEL096-355-4300

●講師　宮本博司氏（元国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所長）

講演「想定外とダム」

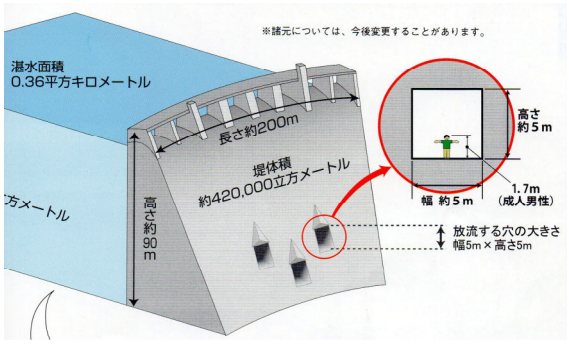
共催　立野ダムによらない自然と生活を守る会　清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会
子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会　美しい球磨川を守る市民の会
ダムによらない治水・利水を考える県議の会　立野ダムによらない白川の治水を考える熊本市議の会
ＮＰＯ法人くまもと未来ネット（旧 ＮＰＯ法人 環境ネットワークくまもと）　豊かな球磨川をとりもどす会

連絡先　熊本市西区島崎4丁目5－13　中島康　電話 090－2505－3880　http://stopdam.aso3.org/

☆このチラシは、住民の皆様方の貴重なカンパにより作成することができました。

立野ダムをつくってはならない理由

●洪水時、立野ダムの穴が流木や土砂でふさがり、洪水調節できなくなります！



穴のサイズは、幅5m×高さ5m

立野ダムは、白川上流の阿蘇・立野峡谷に国土交通省が計画した、**高さ90m**の洪水調節専用の「穴あきダム」です。立野ダムには、ゲートのない３つの穴がダムの下のほうに開いていますが、その**幅は5m**しかありません。しかも、穴の内部に流木や岩石などが入らないように、ダムの穴の上流側は**隙間わずか20cmのスクリーン（柵）**で覆われます。これでは洪水時にダムの穴は、明らかに流木などでふさがります。

洪水のときにダムの穴がふさがったら、洪水を下流に流すことができず、ダムは短時間で満水になってしまいます。九州北部豪雨のような洪水では、立野ダムは１時間あまりで満水となります。ダム下流の洪水流量は、**0から一気に最大**に上昇します。しかも、流木の撤去は不可能です。立野ダムは災害をひきおこします。

●熊本地震で、立野ダム水没予定地周辺の大半が崩れました。立野ダムは大きな災害源となります！

地震とその後の大雨で、立野ダム建設予定地の両岸は大きく崩壊し、ダム水没予定地周辺の大半が崩れました。国土交通省によると、立野ダム水没予定地には熊本地震による土砂崩壊で**50万㎥**の土砂がたまっており、計画通りダムが機能するには**30万㎥**の土砂を掘削する必要があるそうです。１０トンダンプで５万台分もの土砂を運び出し、処分する必要があるのに、**トラックや重機が下りていく道路がつくれません**。

下りることができないので、大半が土砂崩壊したダム水没予定地の崩壊斜面をコンクリートで固める等の土砂崩壊対策工事もできません。ダムの水位が上がれば、立野溶岩の表面に堆積した火山性堆積物が崩れ、**湛水（たんすい）地すべり**が発生するのは明らかです。大雨などでダムに水がたまった状態で斜面の崩落があった場合、ダム湖に津波が発生し、ダムの水があふれて大惨事になる危険性もあります。このような場所に、**高さ90m もの巨大なダム**をつくれば、次の世代に大きな災害源を残すことになります。

●河川改修で白川の流下能力は大幅に向上し、立野ダムを建設する必要はありません！

国交省が情報開示した
熊本市・藤崎宮地点の白川の流下能力
（白川河口より14km地点右岸）

改修前：
毎秒1748トン
（九州北部豪雨では洪水が氾濫）

➡

改修後：
毎秒3630トン
（川幅が広がり高さ2mの堤防も完成）

国土交通省が情報開示した資料によると、2012 年の九州北部豪雨の後、河川改修で熊本市内の白川は川幅が広がり、高さ２ｍの堤防も完成したことで、改修前と比べ各地点で**毎秒 1000～2000 トン**程度余計に洪水を流すことができるようになりました。これまで水害被害を受けていたのは、河川改修が完成していなかった地区だけです。

一方で、立野ダムの洪水調節能力は、ダムが計画通りに機能しても、わずか**毎秒 200トン**です。大半が土砂崩壊した立野ダム水没予定地を見ると、ダムを造れたとしても機能しないことは明らかです。立野ダム建設よりも河川改修を進めるべきです。

◇詳しい資料はこちらをご覧ください→http://stopdam.aso3.org

立野ダムによらない自然と生活を守る会　連絡先　熊本市西区島崎4丁目5－13　中島康　電話 090－2505－3880